

2023
夏号

朝日野総合病院 広報誌



「箱石峠と根子岳」阿蘇市（看護師 松下 竜太）

日本におけるマスクの最初の記述は、江戸時代石見銀山で絹布に柿渋を塗り、面内に梅肉を挟み両端にひもを付け粉塵対策に用いたそうです。感染症対策で一般に知られるようになったのは一九一八年第一次世界大戦中に全世界に広がったH1N1インフルエンザで「スペインかぜ」として知られていますが、国内でマスクをかけぬ命知らず！というポスターが残っています。約百年後の二〇一九年二月に中国武漢から始まったSARS-CoV-2ウイルスによる、新型コロナウイルス感染症対策で三年間もマスクをつけて生活するなご考えもありませんでした。

マスク考



院長補佐
伊藤 清隆
(呼吸器内科)

先日マスクを交換しようと外した時に、スタッフから「初めて顔を見た」と言われました。当院へ赴任する前からコロナ禍で、歡送迎会、忘年会も全て中止、人前でマスクを外すことはなく、スタッフの顔もマスク越しにしか見たことがありません。人間は見えないものについては脳内補正して良く見ようとする傾向があり、「マスクをしていると美人に、あるいはイケメンに見える。マスクをとると現実が露わになりマスクをとるのが嫌だ」と書いた文章がありました。しかし、最近屋外ではマスクをせずに通勤通学する方が増えており無用な心配だったようです。流石に三密になる通勤バスを待つ方々は、殆どマスクをつけておられ、日本人の社会規範の高さを思います。

今年の呼吸器学会総会に於ける京都大学 西浦 博教授の招請講演「新型コロナウイルス感染症の疫学と数理モデル」で、流行初期「ハンマー」とダンス」での対策の振り返りがありました。流行

理念

愛する人を安心して任せられる
病院の創造

基本方針

- 患者中心の医療の提供**
患者の権利を尊重し、インフォームド・コンセントを徹底することにより、相互の信頼関係の確立に努力する。
- 患者サービスの向上**
病院の居住性・機能性を高め、接遇等の改善を通じ、心身ともに快適な受診や療養生活が送れるよう配慮する。
- 救急医療の充実、医療水準の維持・向上**
救急医療の充実を図りつつ、24時間365日の医療を提供する。また各診療科の医療水準を向上させ、高度医療を維持・推進する。
- 予防医療の展開**
健診業務を積極的に行い、生活習慣病診療科及び脳卒中診療科、総合リハビリテーションセンター、他各機能の充実を図り、生活習慣の是正等を啓蒙し、発病予防へと繋ぐ医療を展開する。
- 医療安全の確保**
医療安全対策・院内感染防止等の管理体制を充実すると共に、職員的安全衛生意識の高揚を図り、事故の未然防止に努める。
- 地域連携の強化**
地域の保健・医療・福祉連携を強化し、公開講座などを通じ、地域住民が健康で豊かな生活を送られるよう支援する。
- 経営の健全化**
医療の質向上や患者サービスの充実には、安定した経営基盤が不可欠であり、適正な収益の確保、費用の節減、事業執行体制の強化など、効率的な経営努力を重ねていく。

初期に患者が急増して医療が逼迫、八割と言われた接触予防策をはじめとした強力な感染抑制策（ハンマー）を行い、患者数が減少して医療水準は保たれましたが、患者数〇にはならず一定の患者数で上下して（ダンス）その過程を繰り返して、日本では第八波まで来ました。五類移行に伴う規制緩和で様々な今後の流行推計がなされていますが、英国などでは既に規制を撤廃して日常が戻りEpidemic 1%の感染状態に近づいているようです。

日本も早くそうならたら良いと思いますが、注意すべきは英国では既感染を示す抗N抗体陽性率が八十五%を超えているということですが、日本での抗N抗体保有率は四十%で、高齢者は二十%台、後期高齢者の七十%以上は未感染で、今までの日本の感染対策が上手いといった証ではありません。当院でも昨年、今年と二回のクラスター発生がありました。オミクロン株になってCOVID-19自体の重症度は低いのですが、感染したことによる衰弱、全身状態悪化、併発症で亡くなられる患者様もおられました。

今後日本でもEpidemic 1%化した際に、後期高齢者の中からある一定数の死亡例も出る可能性を覚悟しておかなければなりません。また、COVID-19水際対策解除後に麻疹、風疹、インフルエンザの流行も伝えられています。従って、一般社会とは別に、我々医療従事者は「病院内へ持ち込まない・広げない」の院内感染対策が今後重要で、仕事場でマスクは当分外せないと考えておいた方が良さそうです。

「看護のつどい」を終えて

北6病棟 看護師長 松下 竜太

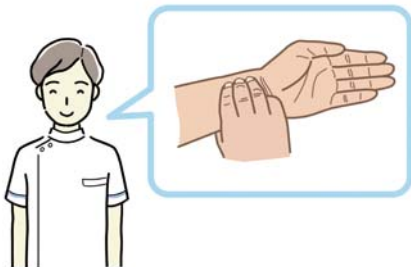
五月十二日はフローレンスナイチングールの誕生に由来し「看護の日」として制定されています。

当院では毎年五月に看護部主任会で「看護の日」のつどいを開催してまいりましたが、近年はコロナ禍の影響で開催を控えていました。

今年、二年ぶりに公開講座の枠で看護のつどいを行えたことを、大変嬉しく思っています。今回は「早期発見のための自己検脈」の内容で、脈の測定方法などについて紹介させていただきました。

検脈とは皮下に触れる動脈の拍動を観察することです。首・手首・足の付け根に指をあけると「トントン」拍動を確認できます。器具を使うこともなく、自分で簡単にできるセルフチェック法です。

今回は手首の測定に挑戦してみました。測定するときは左手首に右手の人差し指、中指、薬指を軽く当てます。規則正しく脈が触れれば正常だと



「光芒と滝」阿蘇郡南小国町(看護師 松下 竜太)



「朝焼けと扇棚田」阿蘇郡産山村(看護師 松下 竜太)

判断されます。測定時間は十五秒程度です。

実際に参加者の皆さまと一緒に脈拍の測定を実施しました。体温や血圧などを測定される方は多かったのですが、日頃から脈拍測定をされている方は少なく、「今回は大変勉強になりました」「脈拍測定のコツを掴めた。よかった」と感想を述べられました。

来年の「看護のつどい」でも患者様・ご家族様そして地域の皆さまの健康増進に役立てて頂けるような内容を企画したいと思っています。

手術前に薬剤師が

患者様に話を聞くのはなぜ？

薬剤科 薬剤師 北窓 正孝

当院では手術が予定されると、薬剤師が患者様にお話を伺います。手術前は様々な検査があり、様々な職種が患者様のもとにやってきて、入れ代わり立ち代わり様々な質問や説明をしていくので大変かもしれませんが、手術の日程や麻酔の方法、薬の調節などに関わってきますのでご協力をよろしくお願いいたします。

具体的には、まず患者様が日頃服用している薬を聞き取ります。聞き取った薬の中に出血に関係している、いわゆる血液サラサラと言われる薬がある場合は、必要があれば医師と相談し薬を休薬したり他の薬に変更したりします。注意しないといけないのは、皆さんが血液サラサラの薬だと言われて服用している薬以外にも同様の働きを持つ薬があり、それを見逃さないようにする必要があります。

薬だけではなく、高濃度のニンニクやジンジャーなどの健康食品の一部はアメリカの麻酔科学会で二〜三週間の間中止が推奨されており、最低でも手術前七日間の中止が推奨されています。その他にも注意が必要な健康食品がありますので、薬だけではなく健康食品やサプリメントについてもできるだけ正確に教えていただけると助かります。実際に中止するかどうかは医師と相談して決めますので、指示

に従って下さい。

その他、多くの女性ホルモンに関する薬は血栓を作りやすい作用があるため注意が必要ですし、傷の直りが悪くなる可能性がある薬もあります。この様に、患者様の薬の履歴を調べることでこれらのことに対応していきます。

また、患者様が受ける予防接種の時期によっては予防接種の副反応と手術による反応の区別がつきにくいことが予想され、医師の判断に影響する可能性があります。したがって、最近受けた予防接種の時期や予定をお聞きしています。

最後に意外なところでは、食べ物のアレルギーが手術の準備に影響することもあります。薬によるアレルギーはもちろん重要な情報ですが、キウイやマンゴーなどの果物にアレルギーを持つ方は天然ゴム製品のラテックスに反応する可能性があり、手術時に使用する手袋などのゴム製品をラテックスを含まないものに変更することがあります。サイズや卵のアレルギーがあると使用できない薬剤もあるのでこれらの情報も含めて「アレルギー歴」をお聞きします。

皆さんが安全でスムーズに手術を終えられるように薬剤師もお手伝いして参ります。



新入職員の活動について

放射線科 診療放射線技師
栗崎 莉音

四月から新卒の新人二名が加わり、十一名となりました。

毎日、空いている時間があれば先輩の放射線技師に撮影方法や医療機器の操作方法などを教わっています。また、昨年からオンライン「コミュニケーションツール」の「Teams」アプリを利用し、教わったことをレポート作成し提出してから指導を受けています。いつでも見返すことができるのでとても便利だと感じています。

今年度から二年目になる私も学び合う立場となり、どう説明したら伝わるのかを考えながら話すように気を付けています。特に私が工夫していることは、自分が実際に体験してみても良かったことや失敗したことを踏まえて話すようにしています。新人二名に負けないよう、私たちも精一杯学習しながら頑張ります。



歯の健康と栄養について

歯科 歯科医師 酒匂 賢一

バランスのとれた食事は全身の健康にとって重要であり、口腔内の健康にも良い影響を与えます。果物、野菜、低脂肪タンパク質、全粒穀物、乳製品など、栄養価の高い様々な食品を食べることで、歯と歯茎の健康維持に必要なビタミンとミネラルを摂取することができます。

一方、砂糖や酸性の食品を多く含む食事は、歯にダメージを与え、むし歯や歯周病のリスクを高めることになります。砂糖と酸を摂取すると、口の内の細菌がそれらを使って酸を作り出し、歯のエナメル質を侵食して虫歯になることがあります。

炭酸飲料、キャンデー、柑橘類など、糖分や酸の多い食べ物や飲み物を避け、代わりに糖分や酸の少ない食べ物を選ぶことで、自分の歯と歯茎を守ることが出来ます。

また、毎食後の歯磨きと毎日のフロッシング（デンタルフロスで歯間のブラーク



「ひまわり」熊本市（歯科衛生士 小倉 沙緒里）

を除去する方法など、口腔衛生に良い習慣を実践し、定期的な歯科医院で検診とクリーニングを受けることも重要です。

薬味を取り入れて

暑い夏を乗りきろう

栄養科 調理師リーダー
西澤 有紀

暑い夏にはそうめん、ざるそば等の冷たい麺や冷奴が食べたくなりますね。

そんな料理に何気なく添えられている薬味。身近で自然な存在であるため、あまり意識しなくても、それがないと何か物足りなく、料理の名脇役としては欠かすことのできない存在です。

薬味は、料理に少量添える香味野菜や香辛料のことで、風味を増したり、味を引き締める効果があります。サンマに添える大根おろしのような消化促進の効果が期待されるものもあります。薬としての効果と味を引き立てる効果の両方を兼ね備えています。

もともと、薬味は医学用語として使われていた言葉でした。中国最古の薬書『神農本草経（しんのうほんぞうきょう）』によると、食物には五味「甘味・苦味・酸味・辛味・塩味」があり、それぞれに効能があり、体質などに応じて取り入れることが大切だと考えられていました。この五味が薬味と呼ば

れるようになり、広く料理に用いられるようになったようです。

日本食で使われる代表的な薬味を紹介します。ねぎ、玉葱、大根おろし、かいわれ大根、生姜、みょうが、ゆず、大葉、にんにく、わさび、山椒、唐辛子、梅、からし、三つ葉、ごま、レモン、すだち、かぼす、海苔、かつお節などが挙げられます。

薬味にどのような効果があるのか、少しだけ紹介したいと思います。
・ねぎは、殺菌作用、血流促進、反感作用、疲労回復、風邪予防などにも効果があります。

・しょうがは、血行促進、胃腸の働きを改善、消化不良予防などに効果があります。ねぎと同じく消臭効果があるため、刺身などにもよく添えられています。

・大葉(青じそ)は、食欲増進、殺菌作用、抗酸化作用、防癌予防などに効果があります。

しかし、薬味が体に良いからといって摂り過ぎは良くありません。過剰に摂取することで、逆に食害が出ることもありますので使いすぎには注意し、適量の食事も美味しくいただきます。



健康維持で感染を予防しましょう

健診センター 主任 保健師

満田 香織

新型コロナウイルス感染症が第五類となり、世間は少しずつ流行前の生活に戻りつつあります。毎日のように見聞きしていた感染者数等の情報も少なくなっており、自分たちで情報に気を付ける必要があります。手洗い、うがい、消毒、人ごみを避ける、換気が心がる、ワクチン接種等、今後も私たちにできる予防行動をとり続けていきたいと思います。

また、感染予防には健康を維持することが大切です。生活習慣を整え、ストレスをためないようにすることが免疫機能(外部から侵入したウイルスなど病原体から身体を守る)を維持することに繋がると考えられています。免疫機能を向上させるためには、

①適度な運動をしましょう。

ウォーキングなどの有酸素運動がオススメです。ただし、激しい運動は疲労などストレスとなり免疫機能を低下させるため注意が必要です。

②体温を高めることを意識しましょう。

運動や入浴などで体温が上がる状態を作ることによって免疫機能が働きやすい状態となります。また、血流がよくなることで免疫細胞も循環しウイルスを発見しやすくなります。リフレクシユ効果でストレス軽減にもつながります。

③バランスの良い食事を摂りましょう。

食べ過ぎない、飲み過ぎないことを心掛け、食後すぐに寝てしまったり、体に負担がかかりすぎないようにしましょう。

④自分のリズムに合った睡眠を確保しましょう。

睡眠不足は免疫機能に影響を及ぼすといわれ、質のいい睡眠はストレス解消という面からも免疫機能にとって重要です。

これらの生活習慣を見直す機会として健康診断があります。年に一度は受けましょう。



「夕焼けの長部田海床路」宇土市(看護師 松下 竜太)

「朝日野総合病院 公開講座」のお知らせ

★どなたでも参加できます。奮ってご参加ください！(参加費無料)

健康講座

「実際の年齢よりも生活年齢が若い人は高齢になっても手術が受けられる」
〜健康長寿になるためには〜

講師：院長補佐 片淵 茂 医師(外科)

こころ

「いきいき長生き!!」
〜いつまでも自分らしくいるために〜

講師：理学療法士 木下 夏美(サニフット)

《日時》令和五年七月二十七日(木) 十三時〜十四時

(受付：十二時三十分開始)

《場所》朝日野総合病院 新北棟二階「さんほーる」

参加方法

①自由に②参加ください。
事前予約は不要です。

※当日体調の悪い方はご遠慮ください。

※新型コロナウイルスの感染状況で急遽中止する場合がございます。

公開講座は毎月第三水曜日に開催！

日程：八月十六日(水) 九月二十日(水)

◆公開講座の内容は、詳細が決まり次第、院内掲示板とホームページにてご案内いたします。

※都合により変更になる場合がございます。

問い合わせ：〇九六一三四四二〇〇〇 (事務部 庶務課 今村まで)

リレー・フォー・ライフ・ ジャパン2023くまもと



「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023くまもと」が5月13日(土)、14日(日)に白川公園で開催されました。生憎の雨模様の中、当院からがん患者サポートチーム、がん患者に関わるスタッフを中心に28人が参加しました。

リレー・フォー・ライフとは、1985年に一人の医師がトラックを24時間走り続け、アメリカ対がん協会への寄付を募ったことから始まりました。「がん患者は24時間、がんと向き合っている」という想いを共有し支援するためでした。

語らうことで生きる勇気と希望を生み出したいというイベントは、世界で約30か国、約4500か所で

総合リハビリテーションセンター

がん患者サポートチーム 理学療法士 坂本 二美子



開催され、年間寄付は300億円にのびます。日本では50か所で開催されているこのイベントは、熊本で13回目となりました。

当院のブースではアロマスプレー作り体験を行い、大雨の中50名を超える方がブースを訪れ、がん患者様やご家族など多くの方と交流しました。また当院における診療体制や活動なども他病院のスタッフと意見交換を行い、当院の強みや課題を再認識することができました。

参加スタッフ一同これからも「がんと闘う」ことを心に誓い、地域のがん医療にさらなる貢献をしていきます。

総合リハビリテーションセンターが行うアスリート支援

総合リハビリテーションセンター 理学療法士 新井 勇人 木下 夏美

今回は、当院リハビリテーションセンターが行うアスリート支援事業についてご紹介します。

当院は熊本保健科学大学と包括連携協定を結んでおり、ジュニアアスリートから社会人アスリートまでを対象に医療専門職として活動のサポートを行っています。

現在は実業団スポーツチームの「オムロンハンドボール部」と「鶴屋女子バスケットボール部」の2チームに対して、国立スポーツ科学センター(JISS)の評価を基に、競技特性に合わせたパフォーマンス評価と、測定機器を用いての筋力・瞬発力・筋の厚み・動作解析などを測定しています。測定結果をフィードバックすることにより、質の高いトレーニングを行う事やケガを予防することが可能となります。ジュニアアスリートに比べ、社会人スポーツでのケガは選手生命を左右するため、理学療法士という立場から、高いパフォーマンスを維持できるような身体作りと競技特性に応じたケガの予防についてアドバイスを行うことが重要です。

当院リハビリテーションセンターでは怪我や病気後のリハビリテーションのみならず、スポーツ分野でも専門知識を活かし活動をしています。様々な分野で活躍できるよう、これからも技術や知識の向上に努めていきたいと思ひます。



「疾患の男女差について」



病院長代理
清水 治樹
(脳卒中診療科)

先日、テレビで「性差医療」というあまり馴染みのない単語を主題にした医学番組を見ました。「男女比が圧倒的にどちらかに偏っている病態」を研究する学問だそうです。本邦において大腸がんが増えているのは周知の事実ですが、男性と女性では発症部位に差があり、男性は肛門に近い直腸に多く、女性は盲腸に近い側に多い傾向とのこと。以下、少し調べてみました。

性差医療という言葉は使わないにせよ、疾患の頻度に男女差があるのは医学的に明らかです。例えば、痛風は男性の病気と言っているほどですし、リウマチなどの膠原病は女性に多くみられます。それ以外にも、骨粗しょう症や鉄欠乏性貧血、甲状腺疾患は女性で有意に多く認められます。また、虚血性心疾患の発症率は男性に多いのですが、死亡率は女性で高

いようです。理由として、男性は心疾患発作時に典型的な胸痛や息切れを訴えることが多いのに対し、女性は歯の痛みや肘や顎が痛かったりと非典型的な訴えがあること、男性に比べ基本的に痛みに強い(我慢強い)こと、などが挙げられます。また、冠動脈が男性に比し細いことも理由の一つです。

私の専門とする脳卒中でも、脳梗塞・脳出血は主要な危険因子である高血圧の有病率の高さや喫煙・飲酒頻度から男性に多いですが、くも膜下出血は女性で二倍近い発症率です。脳卒中の男女差は年齢によっても変わってきます。五十歳台以前は前述のように男性で脳梗塞が多いものの、それ以降は加齢とともに女性の発症が増え、男女比が小さくなります。脳梗塞の中で、心房細動という不整脈が主因となる心房性脳塞栓症というタイプは、高齢女性で男性の発症を上回ります。詳細は省きますが、これら加齢に伴う男女比変動の理由の多くは女性の寿命の長さ、血管を保護する女性ホルモンとの更年期以降の減少で説明がつきます。

LGBT(性的少数者の権利が世界的に問題となっている昨今ですが、心理的・精神的な問題はさておき、男女に生物学的差異は歴然としてあり、疾患への対応も異なることがあることを知っておきたいものです。

令和5年度 第1回 救急症例検討会

庶務課 課長 紫垣 佳孝

令和5年5月18日(木)午後6時より、朝日野総合病院 新北棟2階多目的ホール『さんぼーる』において今年第1回目の救急症例検討会を3年ぶりに開催いたしました。

この検討会には救急隊25名、当院からは医師・職員117名、合計142名の参加で、症例検討・特別講演と2つのテーマで開催されました。症例検討では救急隊より2症例提示していただき、1症例ずつ担当医からの症例説明、救急隊からの質問など、症例を通じてより現場の理解度が上がった研修でした。特別講演では野村病院長より『コロナそして医師の働き方改革と救急医療』をテーマに、救急医療において当院の置かれた現状と課題は何か、そしてその対応策などの説明があり、救急隊と共に当院職員も救急医療に対して再度方向性を理解する機会となりました。

2つのテーマが終了後、救急隊と当院職員とのフリーディスカッションが生まれ、救急隊からは日頃聞きにくい質問など活発に論議され有意義な機会となりました。

この3年間、新型コロナウイルス感染症で感染対策、そして治療とシビアな環境が続きましたが、今後も救急医療に対して地域に貢献できる病院であり続けたいと考えております。



朝日野総合病院 外来担当医表 令和5年7月現在

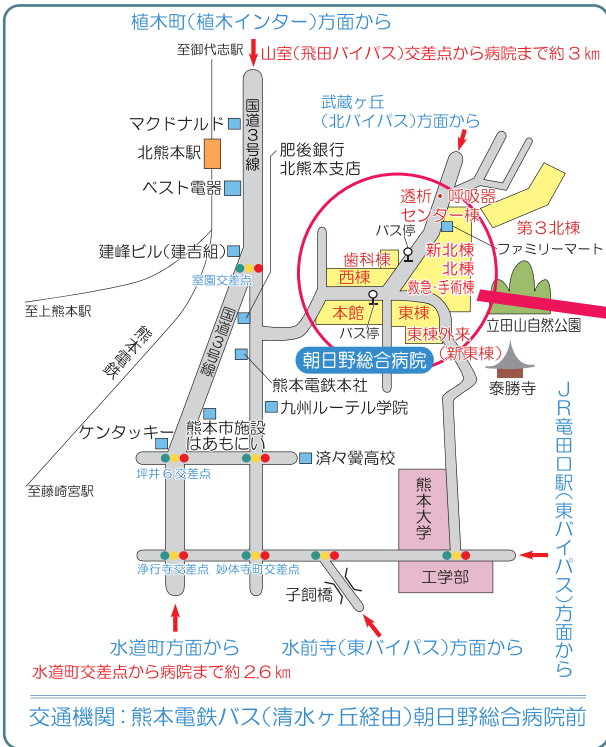
救急外来:救急患者は24時間・365日

※都合により担当医が変更となる場合がございます。

施設	診療科目	曜日	月	火	水	木	金	土
救急・手術棟	一般外科 消化器外科 血管外科 呼吸器外科 総合診療科 肛門外科 乳腺・内分泌外科	午前	土井口 幸 河野一朗 (片瀨 茂) (柴田 浩)	片瀨 茂 柴田 浩(総合診療科) (土井口 幸) (河野一朗)	土井口 幸 河野一朗 柴田 浩(内視鏡検査)	片瀨 茂 柴田 浩(総合診療科) (土井口 幸) (河野一朗)	片瀨 茂 河野一朗 (土井口 幸) (柴田 浩)	【午前外科外来】 土井口 幸 柴田 浩(第1・3) 岸川和志(第3) 【午前内科外来】 第1~5 木脇祐聡 第2 上野満徳(熊大血内) 第4-5 中村朋文(熊大血内)
		午後	※手術日 土井口 幸 河野一朗 (柴田 浩)	片瀨 茂 土井口 幸 (河野一朗) (柴田 浩)	※手術日 土井口 幸 河野一朗 (柴田 浩)	片瀨 茂 (河野一朗) (柴田 浩)		
	形成外科 皮膚科	午前	原田美穂	※手術日	原田美穂	原田美穂(第2・4)	原田美穂	
	皮膚科	午前		持永詠子		持永詠子(第1・3・5)		
	脳卒中診療科	午前	清水治樹	清水治樹	清水治樹	清水治樹	清水治樹	
	緩和ケア外来 ※原則予約制	午後		片瀨 茂				
	小児リハビリテーション科	午前				清水治樹		
	麻酔科	午前 午後	河野一朗 清水直子	河野一朗 清水直子 東 兼充(PM)	河野一朗 清水直子	河野一朗 清水直子 東 兼充(PM)	河野一朗 清水直子	
東棟外来	整形外科	午前	前川清 岡元 勉 辻 王成 (野村一俊) (堀 友宏)	前川清 岡元 勉 (野村一俊) (堀 友宏)	野村一俊 辻 王成 堀 友宏 (岡元 勉)	前川清 岡元 勉 堀 友宏 (野村一俊) (辻 王成)	野村一俊 辻 王成 堀 友宏 (岡元 勉)	岡元 勉 堀 友宏
	リウマチ科	午後	※手術日 (野村一俊) (岡元 勉) (辻 王成) (堀 友宏)	※手術日 (野村一俊) (岡元 勉) (辻 王成)	※手術日 (野村一俊) (岡元 勉) (辻 王成) (堀 友宏)	※手術日 (野村一俊) (岡元 勉) (辻 王成) (堀 友宏)	※手術日 (野村一俊) (岡元 勉) (辻 王成) (堀 友宏)	
	骨粗鬆症外来 ※完全予約制	午前		辻 王成				
	ペインクリニック内科	午前	清水直子		清水直子	大津哲郎	清水直子	
	脳神経外科	午前		熊大脳神経外科 (第1・3・5)				久留米大脳外
本館	一般内科 呼吸器内科 総合内科 リウマチ内科 血液内科 循環器内科 神経内科 心療内科	午前	清川哲志 伊藤清隆 新堀俊文 千住みどり (島津和泰) (緒方康博)	木山程荘 島津和泰 緒方康博 千住みどり (清川哲志) (伊藤清隆) (新堀俊文)	木山程荘 清川哲志 依明恵(熊大神経内科) 第1・3 上野満徳(熊大血内) (伊藤清隆) (新堀俊文)	清川哲志 新堀俊文 千住みどり (伊藤清隆) (島津和泰)	伊藤清隆 緒方康博 千住みどり (清川哲志) (島津和泰) (新堀俊文)	【救急・手術棟】 にて診療
	腎臓内科	午後	島津和泰 緒方康博 千住みどり (清川哲志) (伊藤清隆) (新堀俊文)	新堀俊文 緒方康博 (清川哲志) (伊藤清隆) (島津和泰)	伊藤清隆 (清川哲志) (新堀俊文)	島津和泰 千住みどり (清川哲志) (新堀俊文)	木山程荘 緒方康博 (清川哲志) (伊藤清隆) (島津和泰) (新堀俊文)	
	腎臓内科	午前	古閑博子	伊東磁郎	木脇祐聡	古閑博子	伊東磁郎	木脇祐聡 (救急・手術棟にて診療) 村上 稔
	放射線科	午前 午後	村上 稔	村上 稔	村上 稔	村上 稔	村上 稔	村上 稔
	リハビリテーション科	午前 午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	糖尿病・代謝内科	午前 午後	加生雅也	加生雅也	加生雅也	加生雅也	加生雅也	加生雅也
	耳鼻咽喉科	午前 午後	湯本英二	湯本英二 菅村真由美	菅村真由美	※手術日 湯本英二 菅村真由美	湯本英二 菅村真由美	
西棟	乳腺外科 嚙下外来 ※完全予約制	午前 午後	後藤理沙				湯本英二 菅村真由美	
	眼科	午前 午後	行徳泰宏	行徳泰宏	行徳泰宏	行徳泰宏	行徳泰宏	行徳泰宏
	泌尿器科	午前 午後	川畑幸嗣		川畑幸嗣		川畑幸嗣	
	婦人科 ※婦人科外来は当直休診	午前		担当医 検診のみ(完全予約制)	(8月より)担当医 検診のみ(完全予約制)	担当医 検診のみ(完全予約制)		
健診センター	午前	近藤圭一郎 西村龍一	近藤圭一郎	近藤圭一郎 緒方さつき	近藤圭一郎 菅 正康	近藤圭一郎 緒方さつき	担当医	
七呼吸透析器・ 透析センター	午前 午後	伊東磁郎 古閑博子 木脇祐聡	伊東磁郎 川畑幸嗣 (木脇祐聡)	伊東磁郎 木脇祐聡	川畑幸嗣 古閑博子 (木脇祐聡)	伊東磁郎 古閑博子	川畑幸嗣・木脇祐聡 熊大泌尿器科医師(第1) 盛 三千孝(第2・4) 出口隆志(第3・5)	
北棟	温熱療法 高気圧酸素療法 ※完全予約制	午前 午後	川畑幸嗣	川畑幸嗣	川畑幸嗣	川畑幸嗣	川畑幸嗣	
	歯科 小児歯科 歯科口腔外科 (インプラント治療)	午前 午後	酒匂賢一 溝上太郎	酒匂賢一 溝上太郎 竹下尚志(熊大歯科) 口腔外)	酒匂賢一 溝上太郎	酒匂賢一 溝上太郎	酒匂賢一 溝上太郎	溝上太郎 宮原知也 (第1・3・5) (熊大歯科) 松岡祐一郎 口腔外) (第2・4)

○ 診療時間：月～金 9:00～12:30 13:30～17:30 土 9:00～12:30 ※()は特別診療 ※赤字は女性医師
 (歯科：月～金 9:00～12:30 13:30～17:30 土 9:00～12:30)(外来リハビリ：月～金 9:00～13:00 14:00～17:30 土 9:00～12:30)
 専門外来担当医：甲状腺外来(月・金 午前)河野一朗、脳卒中外来(月～金 午前)清水治樹
 女性専門外来・ストレス外来(男女)(月・木 午後)千住みどり

朝日野総合病院への行き方及び駐車場のご案内



健診センターのご案内

健診センター長
近藤 圭一郎

西棟 2 階の健診センターでは、皆様の健康管理のお手伝いをしています。是非ご利用下さい！

健診コース

- ・人間ドック(宿泊コース・日帰りコース・心血管病コース)
- ・生活習慣病予防健診
- ・定期健康診断
- ・一般健診
- ・特定健康診査、特定保健指導
- ・乳がん・子宮がん検診
- ・胸部CT検査・頭部MRI検査

※各種オプション検査、
診断書発行等も
行っております。

月曜～金曜 午前 8:00～12:00
午後 13:30～17:30
土曜日 午前 8:00～12:00

ご予約・お問合せ先

TEL 096-341-5075 (直通)
担当/臼杵 お気軽にお問合せ下さい。



医療法人
朝日野会

朝日野総合病院

救急告示指定(二次) 病院長 野村一俊 名誉院長 前川清継
国土交通省 病院長代理 清水治樹 常任顧問 湯本英二
短期入院協力病院 院長補佐 片瀨茂・清川哲志・伊藤清隆・土井口幸
※曜日毎の担当医などの詳細は7ページをご参照下さい

病床数378床

駐車場650台

〒861-8072 熊本市北区室園町12番10号

TEL.096-344-3000

FAX.096-343-7570



<https://www.asahino.or.jp/> 朝日野会 検索

患者様の人格が尊重され、より良い医療が提供されるよう、私たちは以下の権利と責務を患者の皆様が有することを確認します。

患者様は、身分、年齢、性別、障害の有無などにかかわらず良質な医療を適切かつ公平に受ける権利があります。

患者様は、人格を尊重され、個人情報やプライバシーを守られる権利があります。

患者様は、診療について、分かりやすく十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。

患者様は、治療計画を理解し、自己の意思で選択し決定する権利があります。

患者様は、診療に必要な自身の健康状態を正確に医療提供者に伝える責務があります。

患者様は、良い医療環境を共有するため、病院の規則を守る責務があります。

あとがき
編集委員

令和5年の夏がきました。今年は昨年と違い新型コロナウイルス感染症も感染症法上の位置付けが変更され、季節性インフルエンザ等と同じになりました。巷ではコロナウイルスに対する危機意識が下がり、人の交流も多くなり経済的には上向きに転じています。しかし、ウイルスの感染力が下がった訳ではありません。これまで同様に手洗い・うがいと共にTPOに合わせたマスク着用、そして感染しやすい高齢者・基礎疾患をもつ方々に対して優しい気持ちで周りに配慮した生活を心掛けていきましょう！(Y.S)

発行日/令和5年7月1日
発行責任者/野村一俊
編集委員/清水陽行・紫垣佳孝
発行所/朝日野総合病院
印刷所/(株)みどり印刷社